

海上保安官という選択肢

海を舞台に夢は広がる



海上保安庁

船艇で活躍

様々な巡視船などに乗船
海上パトロール
海難救助や海上犯罪捜査など
船長・機関長・通信士・主計士



118番

航空機で活躍

全国の航空基地などで勤務
空からの海上パトロール
海難救助や海上犯罪捜査など
パイロット・整備士・通信士



～女性活躍を推進中～
船長・パイロット・管制官
・潜水士等で活躍しています

陸上で活躍

本庁や全国の管区本部・海上保安部などで勤務
総務や厚生・運用・管制官など半数の職員が陸上で勤務



様々な仕事



海上保安庁
パンフレット
2025



海上保安庁
YouTube



@JAPAN_COAST_GUARD
海保Instagram



生命を救う



治安の確保



領海・EEZを守る



青い海を守る



災害に備える



海を知る



写真は管制官

海上交通の安全を守る



海をつなぐ

海上保安官になるには

海上保安大学校・海上保安学校ともに入学金と授業料は一切必要ありません
また、学内の生活に必要な制服や寝具類は貸与されます
国家公務員となりますので給与が支給されます。



高卒程度

高卒後2年未満



大卒程度

30歳未満



高卒程度

高卒後12年未満 ※1
(大卒者受験可)



海上保安官採用サイト



入学案内2025

お問い合わせ先 松山海上保安部 089-951-1196 (平日のみ)

一次試験

基礎能力試験（多肢選択式）

作文試験

学科試験〈数学・英語〉
(多肢選択式・記述式)

基礎能力試験（多肢選択式）

課題論文試験

二次試験

※ 全て共通

人物試験

身体検査

身体測定

体力検査

作文試験

基礎能力試験
(多肢選択式)

学科試験
<数学・英語>
(多肢選択式)

三次試験

※航空課程のみ

人物試験

身体検査

適性検査

※1：4月期の場合であり、10月期は高卒後13年未満